



VCube v4.0 から v4.1 へのアップグレード

【概要】

この文章情報は、VCube v4.0 から v4.1 へのアップグレード方法が書かれています。

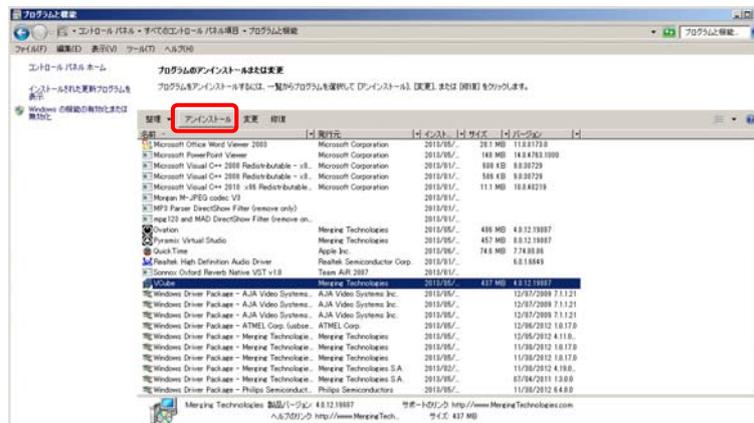
VCube v4.0 以外のバージョンからのアップグレードには、v4.1 用の Key ファイルが必要です。

【手順】

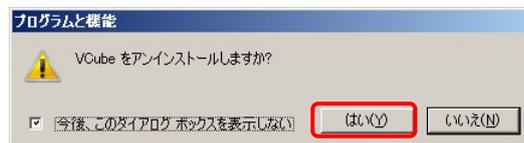
1. VCube v4.0 を削除します。
2. VCube v4.1 をインストールします。
3. 日本語パッチを置き換え、正しい日本語メニューと置き換えます。
4. ライセンスの確認とアプリケーションの設定

【Step by Step】

1. Vcube v4.0 の削除方法
 - 1.1 コントロールパネルを開き、『プログラムの削除』を開きます。



- 1.2 リストの中から『VCube』を選択し、『アンインストール』をクリックして実行します。



- 1.3 削除が開始されます。



- 1.4 削除が終了したら、PC を再起動してください。



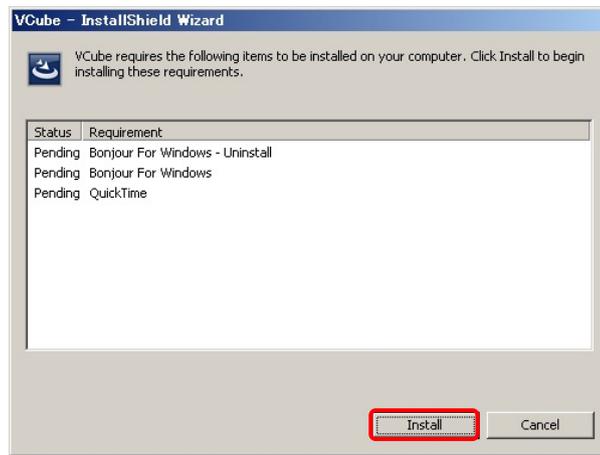
Technical Information

2. VCube v4.1 のインストール

2.1 『VCube_4.1.x_Buildxxxx.exe』を用意します。

注意: このファイルは <http://www.dspj.co.jp/~mergingsoftware> から入手可能です。アクセス方法が不明な場合は、info@dspj.co.jp にお問い合わせ下さい。

このインストーラーを起動します。すると Bonjour や QT のインストールを促される下図の注意が表示されます。

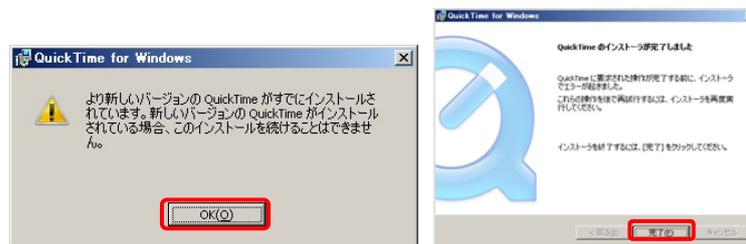


2.2 『Install』をクリックします。

2.3 QuickTime は既にインストールされていますが、ここでは『はい(Y)』をクリックします。



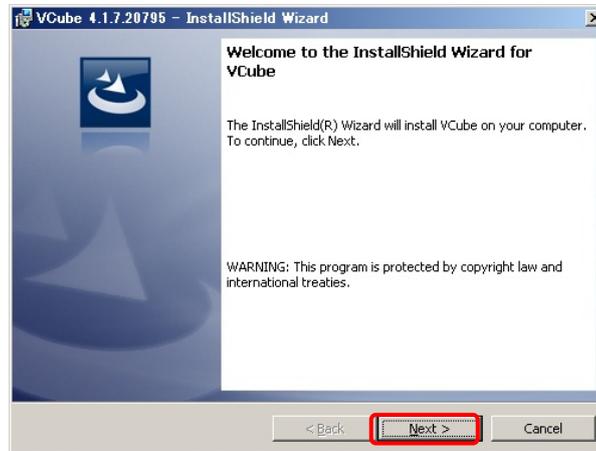
2.4 QT のインストールが必要ない場合は、下図のダイアログが表示されます。『OK(O)』をクリックし、次のダイアログで『完了(F)』をクリックします。



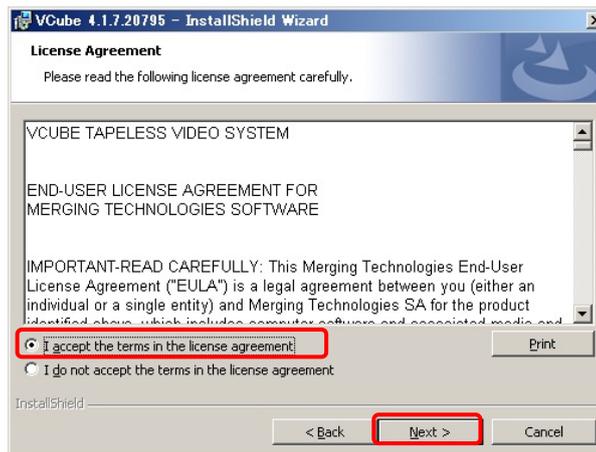
2.5 VCube のインストールが開始されます。『Next >』をクリックします。



Technical Information



2.6 ライセンス受諾のダイアログが表示されます。『I accept the terms in the license agreement』にチェックを入れ、『Next >』をクリックすると、インストールが続きます。

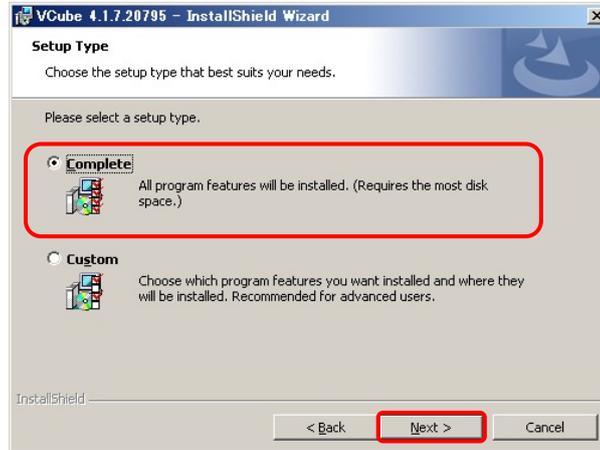


2.7 そのまま(空欄でも結構です)『Next >』をクリックすると、インストールが続きます。

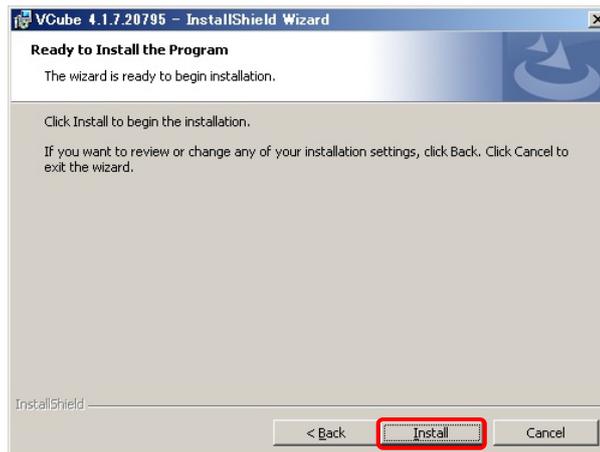




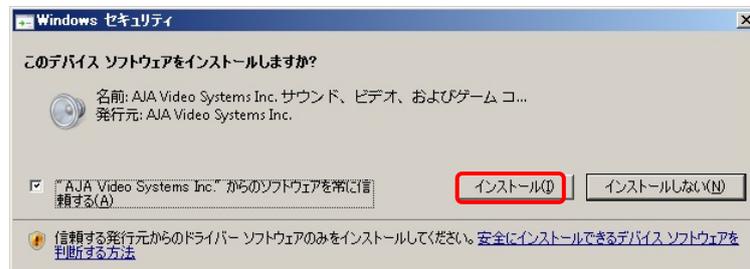
2.8 Setup Type では『Complete』を選択して、『Next >』をクリックし、インストールを続けます。



2.9 『Install』をクリックし、インストールを続けます。



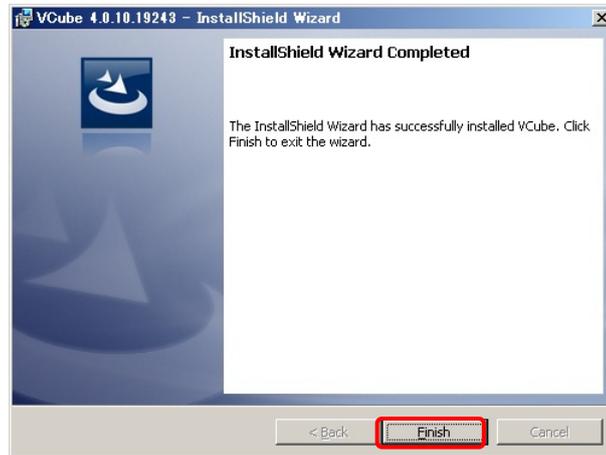
2.10 下図の様な、全ての『デバイス ソフトウェア』や『ドライバ』のインストールに関するダイアログでは、『インストール(I)』をクリックしてインストールしてください。さらにインストールが引き続き行われます。





Technical Information

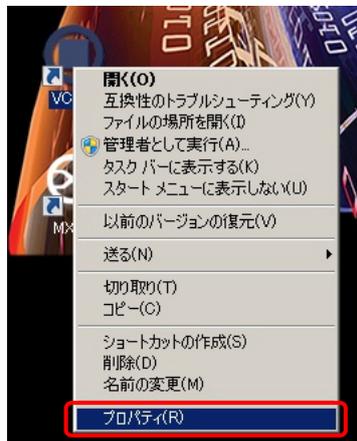
2.11 インストールが終了すると、下図のダイアログが表示され、インストール作業が正常に終了したことを表示します。『Finish』をクリックしてインストーラーを終了させてください。



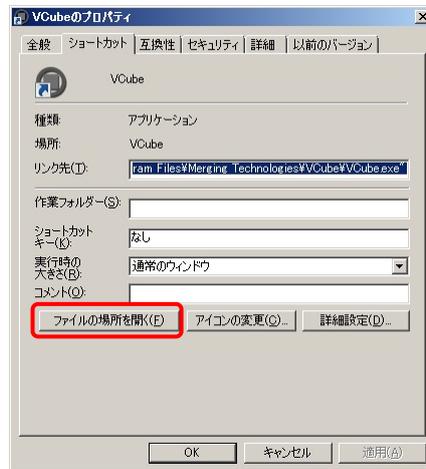
3. 日本語パッチの入れ替え

3.1 日本語パッチ『Japanese.xml』があることをご確認ください。注意：このファイルは、<http://www.dspj.co.jp/~mergingsoftware> から入手できます。

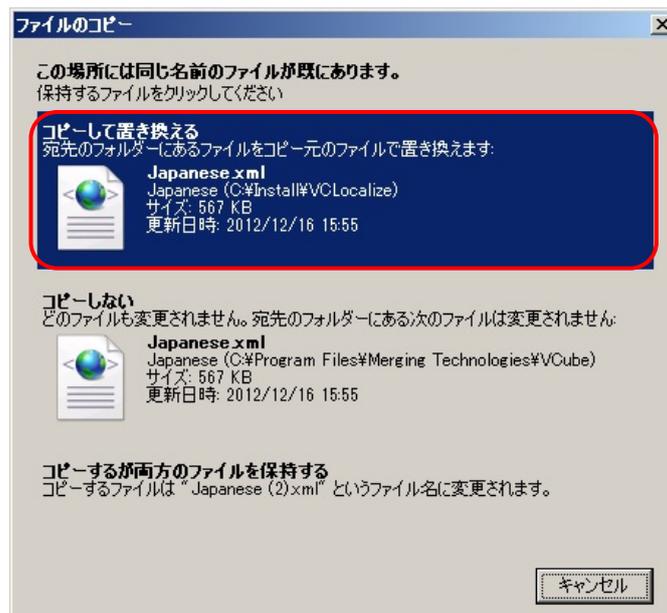
3.2 デスクトップ上に作られた VCube のショートカットを右クリックして、『プロパティ』を開きます。



3.3 ダイアログの中の『ファイルの場所を開く(F)』をクリックし、VCube がインストールされたフォルダーを開きます (C:%ProgramFiles%MergingTechnologies%VCube%)。



- 3.4 開いたフォルダーに、『Japanese.xml』をドラッグして入れます。
- 3.5 『この場所には同じ名前のファイルが既にあります。』とのダイアログが表示されますので、『コピーして置き換える』をクリックし、します。



以上でアップグレード作業は完了です。

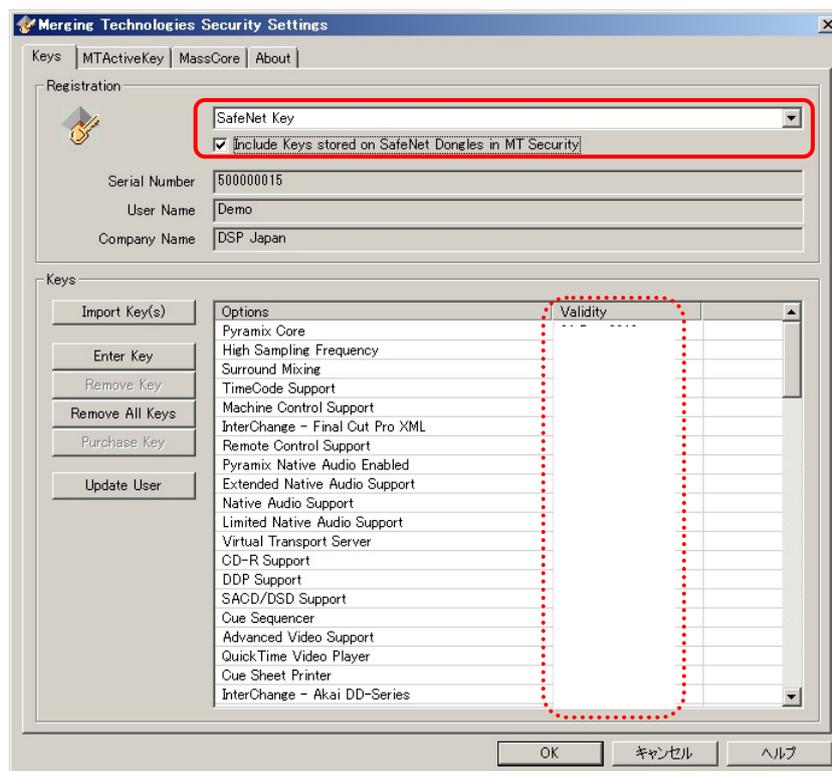


4. ライセンスの確認とアプリケーションの設定

4.1 コントロールパネルを開き、『MT Security Settings』を開きます。



4.2 『Keys』のタブの『Registration』の欄で『SafeNet Key』を選択し、『Includes Keys stored on SageNet Dongles in MT Security』にチェックが入っていることを確認します。また、『Validity』の欄の必要な項目に、『Permanent』の表示が入っていることを確認します。



4.3 以上が確認できたら『OK』で閉じます。



Technical Information

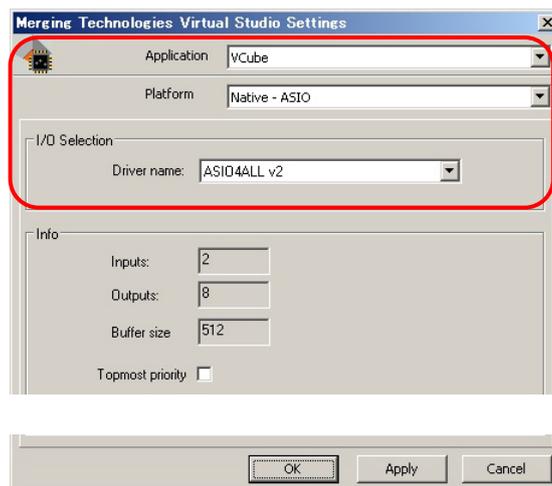
4.4 次に『VS3 Control Panel』を開きます。



4.5 『Application』を『VCube』に合わせます。

『Platform』に『Native - ASIO』が選択され、

『I/O Selection』の『Driver Name』に『ASIO4ALL v2』が選ばれていることを確認します。



4.6 OK で閉じます。

以上で全ての作業は完了です。